

証券コード 6182
2026年5月13日

株 主 各 位

東京都千代田区神田神保町三丁目7番1号
株 式 会 社 メ タ リ ア ル
代表取締役 五 石 順 一

第22回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、当社第22回定時株主総会を下記により開催いたしますので、ご通知申しあげます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の以下の各ウェブサイトにて「第22回定時株主総会招集ご通知」として掲載しておりますので、以下の各ウェブサイトにてアクセスのうえ、ご確認くださいませようお願い申しあげます。

当社ウェブサイト <https://www.metareal.jp/ir/stock/meeting.html>



株主総会資料 掲載ウェブサイト <https://d.sokai.jp/6182/teiji/>



電子提供措置事項は、上記ウェブサイトのほか、東京証券取引所（東証）のウェブサイトにも掲載しておりますので、以下の東証ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）にてアクセスして、銘柄名（メタリアル）又は証券コード（6182）を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類／PR情報」を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知／株主総会資料」欄よりご確認くださいませようお願い申しあげます。

東証ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）
<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



なお、当日ご出席願えない場合は、インターネット又は書面（郵送）によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、2026年5月27日（水曜日）午後6時までに議決権を行使してくださいませようお願い申しあげます。

【インターネットによる議決権行使の場合】

当社指定の議決権行使ウェブサイト (<https://www.web54.net>) にアクセスしていただき、本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙に表示された「議決権行使コード」及び「パスワード」をご利用のうえ、画面の案内にしたがって、議案に対する賛否を上記の行使期限までにご入力ください。

インターネットによる議決権行使に際しましては、後記の「インターネットによる議決権行使のご案内」をご確認くださいようお願い申し上げます。

【書面（郵送）による議決権行使の場合】

議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、上記の行使期限までに到着するようご返送ください。

敬 具

記

1. 日 時 2026年5月28日（木曜日）午後1時
2. 場 所 東京都千代田区神田錦町三丁目22番地
テラススクエア3階
TKPガーデンシティPREMIUM神保町「プレミアムガーデン」（末尾の会場ご案内図をご参照ください。）
3. 目的事項
報告事項
 1. 第22期（2025年3月1日から2026年2月28日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第22期（2025年3月1日から2026年2月28日まで）計算書類報告の件

決 議 事 項

- 第1号議案 取締役1名選任の件
第2号議案 その他資本剰余金の処分の件

4. 招集にあたっての決定事項（議決権行使についてのご案内）

- (1) 書面（郵送）により議決権を行使された場合の議決権行使書用紙において、議案に対する賛否の表示がない場合は、賛成の表示があったものとしてお取扱いいたします。
- (2) インターネットにより複数回、議決権を行使された場合は、最後に行われた議決権行使を有効なものとしてお取扱いいたします。
- (3) インターネットと書面（郵送）により重複して議決権を行使された場合は、到着日時を問わず、インターネットによる議決権行使を有効なものとしてお取扱いいたします。
- (4) 代理人により議決権を行使される場合は、議決権を有する他の株主の方1名を代理人として株主総会にご出席いただけます。ただし、代理権を証明する書面のご提出が必要となりますのでご了承ください。

5. その他本招集ご通知に関する事項

本株主総会においては、書面交付請求の有無にかかわらず、一律に電子提供措置事項を記載した書面をお送りいたします。なお、電子提供措置事項のうち、次の事項につきましては、法令並びに当社定款第17条の規定に基づき、お送りする書面には記載していません。なお、監査役及び会計監査人は、下記の事項を含む監査対象書類を監査しております。

- ① 事業報告の「企業集団の現況」
 - (1) 直前3事業年度の財産及び損益の状況
 - (2) 対処すべき課題
 - (3) 主要な事業内容
 - (4) 主要な営業所
 - (5) 使用人の状況
 - (6) 主要な借入先の状況
 - (7) その他企業集団の現況に関する重要な事項
- ② 事業報告の「会社の現況」
 - (1) 株式の状況
 - (2) 新株予約権等の状況
 - (3) 会計監査人の状況
- ③ 事業報告の「業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況」
- ④ 連結計算書類
- ⑤ 計算書類
- ⑥ 監査報告

以 上

~~~~~  
当日ご出席の際は、お手数ながら本招集通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

ご送付している書面は、書面交付請求に基づく電子提供措置事項記載書面を兼ねております。

電子提供措置事項に修正が生じた場合は、上記の電子提供措置をとっている各ウェブサイトにおいて、その旨、修正前及び修正後の事項を掲載させていただきます。

## インターネットによる議決権行使のご案内

インターネットにより議決権を行使される場合は、あらかじめ次の事項をご了承いただきますよう、お願い申し上げます。

### 1. 議決権行使ウェブサイトについて

インターネットによる議決権行使は、当社の指定する以下の議決権行使ウェブサイトをご利用いただくことによるのみ可能です。

議決権行使ウェブサイトアドレス <https://www.web54.net>

### 2. 議決権行使のお取扱いについて

- (1) インターネットにより議決権を行使される場合は、本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙に表示された「議決権行使コード」及び「パスワード」をご利用になり、画面の案内に従って賛否をご入力ください。

なお、議決権行使書用紙右下記載のQRコードを読み取ることで議決権行使コード及びパスワードを入力することなく議決権行使ウェブサイトログインすることができます（この方法での議決権行使は1回に限り可能です）。※「QRコード」は株式会社デンソーウェアの登録商標です。

- (2) 議決権の行使期限は、2026年5月27日（水曜日）午後6時までとなっておりますので、お早めの行使をお願いいたします。
- (3) インターネットと書面（郵送）により、重複して議決権を行使された場合は、インターネットによるものを有効な議決権行使としてお取扱いいたします。また、インターネットによって複数回議決権を行使された場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取扱いいたします。
- (4) 議決権行使ウェブサイトをご利用いただく際のプロバイダ及び通信事業者の料金（接続料金等）は、株主様のご負担となります。

### 3. パスワード及び議決権行使コードのお取扱いについて

- (1) パスワードは、ご投票される方が株主様ご本人であることを確認するための重要な情報です。印鑑や暗証番号同様、大切にお取扱いください。
- (2) パスワードは一定回数以上間違えると使用できなくなります。パスワードの再発行をご希望の場合は、画面の案内に従ってお手続きください。
- (3) 議決権行使書に記載されている議決権行使コードは、本総会に限り有効です。

### 4. パソコン等の操作方法に関するお問い合わせ先について

- (1) 本サイトでの議決権行使に関するパソコン等の操作方法がご不明な場合は、下記にお問い合わせください。

三井住友信託銀行 証券代行ウェブサポート 専用ダイヤル  
【電話】 0120 (652) 031 （受付時間 9：00～21：00）

- (2) その他のご照会は、証券会社に口座をお持ちの株主様は、お取引の証券会社様あてにお願いいたします。

# 事業報告

( 2025年3月1日から  
2026年2月28日まで )

## 1. 企業集団の現況

### (1) 当連結会計年度の事業の状況

#### ① 事業の状況

当連結会計年度につきましては、AI事業において売上高及び営業利益が対前期比で減少したものの、HT事業においては営業利益が増加し、メタバース事業及びAI/MV Marketing事業においては損失発生額が縮小いたしました。

結果、当連結会計年度における当社グループの売上高は4,487,157千円（前連結会計年度比9.9%増）、営業利益は214,000千円（前連結会計年度比82.4%増）、経常利益は182,639千円（前連結会計年度比61.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は48,201千円（前連結会計年度比83.9%減）となりました。

セグメント別の業績は、以下の通りであります。当社グループの報告セグメントは従来までは「AI事業」、「HT事業」及び「メタバース事業」の3区分でありましたが、中長期的な成長戦略の一環としてM&Aを積極的に推進するに当たり、当連結会計年度より報告セグメントの区分を「AI事業」、「HT事業」、「メタバース事業」及び「AI/MV Marketing事業」の4区分に変更しております。また、以下の前期比較については、前連結会計年度の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

AI事業におきましては、受注高は2,648,363千円（前連結会計年度比12.6%減）となりました。売上高は前期からの受注高減少により2,822,603千円（前連結会計年度比8.6%減）となり、新規案件の獲得及びブランド認知向上のための広告宣伝活動や経営体制の再構築投資等により、セグメント利益は273,061千円（前連結会計年度比44.7%減）となりました。今後は、成長可能性の高い4つの戦略領域である「人手修正の要らない翻訳AI（エージェンティック翻訳AI）」「製薬特化垂直統合エージェントAI」「建築特化垂直統合エージェントAI」「事業創出全自動AI」に選択と集中を図ります。主力商品のT-400への積極的な開発投資を始めとした顧客価値創造の梃子となる先行投資や企業の生成AI活用促進に資する提案活動を実施することにより、更なるサービスの質及び収益力の向上を図り、中長期的な業績回復を実現すべく施策を推進してまいります。

HT事業におきましては、Xtra株式会社の清算により、売上高は708,712千円（前連結会計年度比19.8%減）となり、セグメント利益は124,508千円（前連結会計年度比40.3%増）となりました。

メタバース事業におきましては、株式会社STUDIO55のグループインにより同社のVR事業をメタバース事業に含めたことと、短中期の成長施策を「Metareal AI」プロジェクトにシフトし、メタバース事業は10±5年の長期視座として投資額を減らしたことにより、売上高は112,652千円（前連結会計年度は9,245千円）となり、セグメント損失は44,770千円（前連結会計年度は185,493千円のセグメント損失）となりました。

AI/MV Marketing事業におきましては、株式会社STUDIO55のグループインにより同社のVR以外の事業をAI/MV Marketing事業に含めたことにより、売上高は843,187千円（前連結会計年度比704.5%増）となり、セグメント損失は12,958千円（前連結会計年度は31,298千円のセグメント損失）となりました。

## 事業別売上高

単位：千円

| 事業区分              | 第 21 期<br>(2025年2月期)<br>(前連結会計年度) |            | 第 22 期<br>(2026年2月期)<br>(当連結会計年度) |            | 前連結会計年度比増減 |            |
|-------------------|-----------------------------------|------------|-----------------------------------|------------|------------|------------|
|                   | 金額                                | 構成比<br>(%) | 金額                                | 構成比<br>(%) | 金額         | 増減率<br>(%) |
| A I 事業            | 3,086,624                         | 75.6       | 2,822,603                         | 62.9       | △264,020   | △8.6       |
| H T 事業            | 884,081                           | 21.6       | 708,712                           | 15.8       | △175,368   | △19.8      |
| メタバース事業           | 9,245                             | 0.2        | 112,652                           | 2.5        | 103,406    | —          |
| AI/MV Marketing事業 | 104,811                           | 2.6        | 843,187                           | 18.8       | 738,376    | 704.5      |
| 合計                | 4,084,762                         | 100        | 4,487,157                         | 100        | 402,394    | 9.9        |

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 当社グループの報告セグメントは従来までは「AI事業」、「HT事業」及び「メタバース事業」の3区分でありましたが、中長期的な成長戦略の一環としてM&Aを積極的に推進するに当たり、当連結会計年度より報告セグメントの区分を「AI事業」、「HT事業」、「メタバース事業」及び「AI/MV Marketing事業」の4区分に変更しております。また、前連結会計年度の数値を変更後のセグメント区分に組み替えております。

### ② 設備投資の状況

当連結会計年度において実施いたしました設備投資等の総額は167,052千円であります。その主な内容はAI事業におけるソフトウェア作成関連163,953千円であります。

### ③ 資金調達の状況

研究開発の先行投資、固定資産取得資金として、銀行より長期借入700,000千円の資金調達を行った他、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行4行と総額850,000千円の当座借越契約を締結しておりますが、この契約に基づく当期末の借入実行残高はありません。また、無担保社債を発行し、300,000千円の資金調達を行っております。

### ④ 事業の譲渡、吸収分割又は新設分割の状況

該当事項はありません。

### ⑤ 他の会社の事業の譲受けの状況

該当事項はありません。

### ⑥ 吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当事項はありません。

### ⑦ 他の会社の株式その他の持分又は新株予約権等の取得又は処分の状況

該当事項はありません。

## (2) 重要な親会社及び子会社の状況

### ① 親会社の状況

該当事項はありません。

### ② 重要な子会社の状況

| 会社名                       | 所在地     | 資本金       | 当社の議決権比率 | 主要な事業内容               |
|---------------------------|---------|-----------|----------|-----------------------|
| 株式会社ロゼッタ                  | 東京都千代田区 | 50,000千円  | 100.0%   | A I 事業                |
| 株式会社グローヴァ                 | 東京都千代田区 | 51,500千円  | 100.0%   | 翻訳・通訳・<br>企画研修事業      |
| 株式会社T-4PO<br>Construction | 東京都千代田区 | 10,000千円  | 100.0%   | 建設業界向けウェア<br>ラブル開発・販売 |
| 株式会社CLASSⅢ                | 東京都千代田区 | 10,000千円  | 100.0%   | 開発事業                  |
| 株式会社MATRIX                | 東京都千代田区 | 100,000千円 | 100.0%   | V R 事業                |
| 株式会社シグナンス                 | 東京都千代田区 | 10,000千円  | 100.0%   | V R 事業                |
| 株式会社STUDIO55              | 東京都渋谷区  | 55,000千円  | 55.0%    | デジタルソリュー<br>ーション事業    |

(注) 1. 当社の連結子会社であったXtra株式会社及びRPAコンサルティング合同会社は清算したため、連結の範囲から除外しております。

2. 当事業年度の末日における特定完全子会社の状況は次のとおりであります。

|                                 |                         |
|---------------------------------|-------------------------|
| 特定完全子会社の名称                      | 株式会社ロゼッタ                |
| 特定完全子会社の住所                      | 東京都千代田区神田神保町<br>三丁目7番1号 |
| 当社及び当社の完全子会社における特定完全子会社の株式の帳簿価額 | 777,609千円               |
| 当社の総資産額                         | 3,411,208千円             |

### ③ 重要な関連会社の状況

| 会社名           | 所在地   | 資本金      | 当社の議決権比率 | 主要な事業内容                   |
|---------------|-------|----------|----------|---------------------------|
| VoicePing株式会社 | 東京都港区 | 99,000千円 | 20.0%    | 音声映像配信<br>ソリューション<br>開発事業 |

## 2. 会社の現況

### 会社役員の状態

#### ① 取締役及び監査役の状況（2026年2月28日現在）

| 地 位       | 氏 名     | 担 当 及 び 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                            |
|-----------|---------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 代 表 取 締 役 | 五 石 順 一 | 代表取締役CEO<br>株式会社ロゼッタ代表取締役<br>株式会社CLASSⅢ代表取締役<br>株式会社MATRIX代表取締役<br>株式会社STUDIO55取締役 |
| 取 締 役     | 米 倉 豪 志 | 取締役CAIO<br>FIFTYFOUR CREATIVE INC.代表取締役<br>Droidrive Inc.代表取締役<br>株式会社MATRIX取締役    |
| 取 締 役     | 秀 島 博 規 | 有限会社J&I取締役                                                                         |
| 取 締 役     | 筒 井 高 志 | 龍樹コンサルティング代表                                                                       |
| 取 締 役     | 時 政 和 宏 | 株式会社時政事務所代表取締役社長<br>株式会社TNBI代表取締役                                                  |
| 監 査 役（常勤） | 石 川 直   | 株式会社グローヴァ監査役                                                                       |
| 監 査 役     | 須 藤 智 雄 |                                                                                    |
| 監 査 役     | 古 賀 崇 広 | 公認会計士古賀崇広事務所代表<br>U&I税理士法人代表社員                                                     |

- (注) 1. 取締役秀島博規氏、取締役筒井高志氏及び取締役時政和宏氏は、社外取締役であります。
2. 常勤監査役石川直氏、監査役須藤智雄氏及び監査役古賀崇広氏は、社外監査役であります。
3. 常勤監査役石川直氏、監査役須藤智雄氏及び監査役古賀崇広氏は、以下のとおり、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
- ・常勤監査役石川直氏及び監査役須藤智雄氏は、金融機関での長年の業務経験があり、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
  - ・監査役古賀崇広氏は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
4. 当社は、取締役筒井高志氏及び取締役時政和宏氏、常勤監査役石川直氏及び監査役須藤智雄氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
5. 2025年5月28日開催の第21回定時株主総会終結の時をもって、取締役渡邊麻呂氏は任期満了により退任いたしました。

② 取締役及び監査役の報酬等  
イ. 当事業年度に係る報酬等の総額

| 区 分                      | 員 数        | 報 酬 等 の 額             |
|--------------------------|------------|-----------------------|
| 取 締 役<br>(う ち 社 外 取 締 役) | 6 名<br>(3) | 110,056千円<br>(16,200) |
| 監 査 役<br>(う ち 社 外 監 査 役) | 3<br>(3)   | 12,000千円<br>(12,000)  |
| 合 計<br>(う ち 社 外 役 員)     | 9<br>(6)   | 122,056千円<br>(28,200) |

- (注) 1. 取締役の報酬等の額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。
2. 取締役の報酬等の額には、2025年5月28日開催の第21回定時株主総会終結の時をもって退任した取締役1名(うち社外取締役0名)の在任中の報酬等の額が含まれております。
3. 取締役の報酬限度額は、2024年5月29日開催の第20回定時株主総会において、年額200,000千円以内(うち社外取締役分年額20,000千円以内、なお、使用人分給与は含まない。)と決議いただいております。当該株主総会終結時点の取締役の員数は、7名(うち社外取締役3名)です。
4. 監査役の報酬限度額は、2005年5月27日開催の第1回定時株主総会において、年額15,000千円以内と決議いただいております。当該株主総会終結時点の監査役の員数は、2名です。
5. 取締役会は、当事業年度にかかる取締役の個人別の報酬等について、報酬等の内容の決定方法及び決定された報酬等の内容が当該決定方針と整合していることを確認しており、当該決定方針に沿うものと判断しております。
6. 当事業年度に係る取締役及び監査役の報酬等は固定報酬のみで、業績連動報酬等の支給及び非金銭報酬等の交付はありません。

- ロ. 役員報酬等の額又はその算定方法の決定に関する方針に係る事項  
当社は2021年2月26日開催の取締役会において、取締役の個人別の報酬等の内容にかかる決定方針を決議しております。取締役の個人別の報酬等(固定報酬)の額又は算定方法の決定に関しては、株主総会において承認を得られた報酬等の限度額の範囲内において、各取締役が管轄する部門の業績数値(基本は各事業の前期決算上の損益)を指標として事前に定められた計算式によって次年度の報酬を決定しております。監督機能を担う社外取締役については固定報酬とし、金額については総合的に勘案して決定しております。

役員の報酬は現時点では固定報酬等のみであるため、取締役の個人別の報酬等の額全体に対する固定報酬等の額の割合を100%とし、今後業績連動報酬等又は非金銭報酬等が発生する際には改めて割合について決定方針を定めるものとしております。

当社の取締役の報酬等の額又はその算定方法の決定に関する方針の決定権限を有する者は取締役会の一任を受けた代表取締役CEO五石順一であり、取締役会決議により取締役の個人別の報酬等の内容についての決定権限を委任しております。委任した理由は、当社全体の業績等を勘案しつつ各取締役の担当部門について評価を行うには代表取締役が適していると判断したためであります。なお、当該権限が適切に行使されるようにするため、取締役会決議前に監査役会において、全グループ役員の報酬額を個別に確認することにより、報酬内容の適正性を確保することとしています。

当社の役員報酬等に関する株主総会の決議年月日は取締役、監査役それぞれ2024年5月29日、2005年5月27日です。

取締役の報酬限度額は年額200,000千円以内（うち社外取締役分年額20,000千円以内、なお、使用人兼務取締役に対する使用人分給与は含まない。）、監査役の報酬限度額は年額15,000千円以内と決議されております。

なお、当事業年度における当社の取締役の報酬等の額の決定は、2025年5月28日開催の取締役会において、代表取締役に一任することを決議しております。

監査役の報酬等は、株主総会で決議された総額の範囲内において、監査役の協議により決定しております。

ハ. 当事業年度に支払った役員退職慰労金  
該当事項はありません。

ニ. 社外役員が親会社又は子会社等から受けた役員報酬等の総額  
該当事項はありません。

### ③ 社外役員に関する事項

- イ. 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係
- ・ 取締役秀島博規氏は、有限会社J&Iの取締役を兼務しております。また、有限会社J&Iは、当社の株主です。
  - ・ 取締役筒井高志氏は、龍樹コンサルティングの代表を兼務しております。当社と兼職先との間には特別の関係はありません。
  - ・ 取締役時政和宏氏は、株式会社時政事務所代表取締役社長及び株式会社TNBIの代表取締役を兼務しております。当社と各兼職先との間には特別の関係はありません。
  - ・ 監査役石川直氏は、株式会社グローヴァーの監査役を兼務しております。なお、株式会社グローヴァーは当社の子会社です。
  - ・ 監査役古賀崇広氏は、公認会計士古賀崇広事務所代表及びU&I税理士法人の代表社員を兼務しております。当社と各兼職先との間には特別の関係はありません。

ロ. 当事業年度における主な活動状況

|          | 出席状況、発言状況及び<br>社外取締役にて期待される役割に関して行った職務の概要                                                                                                                                                             |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役 秀島博規 | 当期に開催した取締役会35回中35回全てに出席しております。主に豊富な経験を持つ経営経験者としての見地から、豊富なビジネス及び経営経験を当社の経営に活かしていただくことを期待し、独立した立場から当社の経営全般及びグループの持続的成長のための適切な助言・提言を行い、経営の管理・監督を行っております。また、取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。 |
| 取締役 筒井高志 | 当期に開催した取締役会35回中35回全てに出席しております。主に豊富な経験を持つ経営経験者としての見地から、豊富なビジネス及び経営経験を当社の経営に活かしていただくことを期待し、独立した立場から当社の経営全般及びグループの持続的成長のための適切な助言・提言を行い、経営の管理・監督を行っております。また、取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。 |
| 取締役 時政和宏 | 当期に開催した取締役会35回中35回全てに出席しております。主に豊富な経験を持つ経営経験者としての見地から、豊富なビジネス及び経営経験を当社の経営に活かしていただくことを期待し、独立した立場から当社の経営全般及びグループの持続的成長のための適切な助言・提言を行い、経営の管理・監督を行っております。また、取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。 |
| 監査役 石川直  | 当期に開催した取締役会35回中35回全て、監査役会15回中15回全てに出席しております。また、金融機関での長年の業務経験と幅広い見識に基づき、独立した立場から当社の経営の監査及びコンプライアンス並びにガバナンスにおける有益かつ貴重な助言・提言を行っていただき、当社の監査体制強化に適切な役割を果たしました。                                             |
| 監査役 須藤智雄 | 当期に開催した取締役会35回中35回全て、監査役会15回中15回全てに出席しております。また、金融機関での長年の業務経験と幅広い見識に基づき、独立した立場から当社の経営の監査及びコンプライアンス並びにガバナンスにおける有益かつ貴重な助言・提言を行っていただき、当社の監査体制強化に適切な役割を果たしました。                                             |
| 監査役 古賀崇広 | 当期に開催した取締役会35回中35回全て、監査役会15回中15回全てに出席しております。また、公認会計士としての豊富な経験と幅広い見識に基づき、独立した立場から当社の経営の監査及びコンプライアンス並びにガバナンスにおける有益かつ貴重な助言・提言を行っていただき、当社の監査体制強化に適切な役割を果たしました。                                            |

④ 責任限定契約の内容の概要

当社と業務執行取締役等でない取締役並びに監査役は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく賠償責任の限度額は、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額としております。

⑤ 役員等賠償責任保険契約に関する事項

当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約の被保険者の範囲は当社及び当社子会社の取締役、監査役、執行役員及び管理職従業員であり、被保険者は保険料を負担しておりません。当該保険契約により被保険者の職務の執行に関し保険期間中に提起された賠償請求（株主代表訴訟を含む）等に起因して被保険者が被る損害（防御費用、損害賠償金及び和解金）が補償されることとなります。

ただし、被保険者の職務の執行の適正性が損なわれないようにするため、被保険者の背信行為もしくは犯罪行為又は故意による法令違反の場合や、保険開始日前に既に発生している損害賠償請求等は保険の対象としないこととしております。

以 上

~~~~~  
(注) 本報告書中の記載金額・株数は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

株主総会参考書類

第1号議案 取締役1名選任の件

成長スピードを加速化させ企業価値のさらなる向上を目指すため、新任取締役1名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

氏 名 (生年月日)	略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)	所有する 当社の株式数
かまやたかゆき 鎌谷 賢之 (1974年7月16日)	1997年4月 三洋電機株式会社入社	1,000株
	2007年4月 同社 経営戦略部担当部長（全社戦略担当）	
	2009年4月 ソフトバンク株式会社入社	
	2009年7月 同社 社長室シニアマネージャー（経営戦略担当）	
	2014年4月 株式会社ナガセ 常務執行役員	
	2017年1月 RIZAPグループ株式会社入社、グループ戦略統括室長	
	2019年4月 同社 執行役員 経営企画本部長	
	2020年6月 同社 取締役	
	2024年7月 株式会社クラウドワークス 執行役員 経営企画担当	
	2024年10月 同社 執行役員 COO	
	2025年8月 株式会社メタリアル 執行役員 管理本部長CFO（現任）	
	2025年12月 株式会社STUDIO55 取締役（現任）	

(注) 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。

第2号議案 その他資本剰余金の処分の件

1. その他資本剰余金の処分の目的

当社は、2026年2月期末時点で、760,943,934円の繰越利益剰余金の欠損を計上しております。本件の実施により、現在生じている欠損額を削減することで、財務体質の健全化を図るとともに、株主の皆様への剰余金の配当や自己株式取得等の株主還元の早期実現に向け、今後の資本政策の機動性及び柔軟性を確保し、中長期的な企業価値向上の実現に向け、株主利益の最大化を図ることを目的としております。

具体的には、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金の一部の452,943,934円を繰越利益剰余金に振替え、繰越利益剰余金の欠損を填補するものであります。

また、本件実施後に、当社の連結子会社からの配当金の受領を行うことにより、当社の繰越利益剰余金の欠損の解消を進めていく方針です。

なお、本件は、貸借対照表の「純資産の部」における勘定科目間の振替処理であり、株主の皆様のご所有株式数や1株当たり純資産額に影響を与えるものではありません。

2. その他資本剰余金の処分の内容

会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金の一部を繰越利益剰余金に振替え、繰越利益剰余金の欠損を填補するものです。

① 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	452,943,934円
----------	--------------

② 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金	452,943,934円
---------	--------------

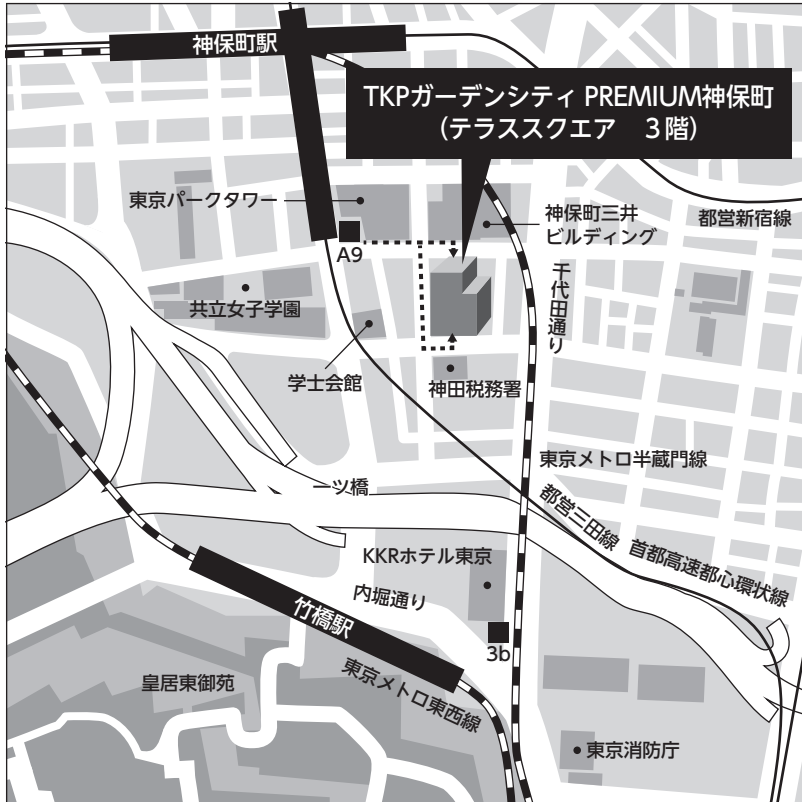
③ 剰余金の処分の効力発生日

2026年5月28日（予定）

以 上

株主総会会場ご案内図

会場：東京都千代田区神田錦町三丁目22番地
テラススクエア 3階
TKPガーデンシティ PREMIUM神保町
「プレミアムガーデン」
TEL 03-6801-8461



交通	都営三田線・都営新宿線・ 東京メトロ半蔵門線神保町駅 東京メトロ東西線竹橋駅	A 9 出口より	徒歩約 2 分
		3 b 出口より	徒歩約 5 分

役員・運営スタッフはマスクを着用させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。